



P&I 特別回報

第 16-012 号
2016 年 7 月 28 日

日本船主責任相互保険組合

外航組員各位

共同海損 - 万国海法会(CMI)での2016年ヨーク・アントワープ規則(YAR 2016)の採択

万国海法会(CMI)の国際作業部会の 4 年にわたる諮問及び見直しののち、本年 5 月初めにニューヨークで開催された万国海法会の小委員会にて、2016 年ヨーク・アントワープ規則(YAR 2016)の改定案が採択されました。

YAR 2004 の採択以降、船主と海上保険者にとって 12 年ものあいだ不確定であり、かつ船主に不利であるため、よく整備・理解されていた YAR 1994 より優先して使われることは非常に稀でしたが、YAR 2016 が新たに採択されたことにより、この問題が解決致しました。

YAR 2016 は、国際海損精算人協会、各国の海法会、船主協会、BIMCO(ボルチック国際海運協議会)、IUMI(国際海上保険連合)とともに国際作業部会の大規模な見直しの末に出来上がったものです。

YAR 2004 にて多く議論となった箇所は、YAR 2016 では以下のとおり変更されております。

- ・救助報酬の精算目的のための取扱い(VI 条) : YAR 2004 とは異なり、海損精算人の裁量次第ではあるものの、VI 条(b)(i)-(v)に示された基準が満たされる場合に、救助報酬は従前のとおり共同海損に認容されます(基本的には、被救助価額と負担価額との間に重大な金額的な差をもたらす場合)。
- ・避難港費用(X 条) : YAR 1994 の文言が維持されました。
- ・避難港における船員の給料(XI 条) : 但書の適用に関し、YAR 1994 の文言にいくつかの補足説明が付け加えられました。
- ・仮修繕費の取扱い(XIV 条) : YAR 1994 の文言に、避難港で実施された仮修繕の費用の精算目的、共に海上冒険を完遂する旨が付け加えられました。
- ・低額貨物の除外(XVI 条) : 共同海損精算人が当該貨物に関する共同海損分担額に含めることが不公平であると考えられる場合には、共同海損積荷分担額から除外することを認める新しい規定が加えられました。
- ・立替手数料及利息(XX 条及び XXI 条) : YAR 1994 で認容されていた年利 2% の立替手数料、共同海損として計上された費用、犠牲及び認容額における固定年利(7%)は廃止され、精算通貨に適用される 12 ヶ月物の ICE LIBOR(インターコンチネンタル取引所のロンドン銀行間取引金利)プラス 4% とすることとなりました。

今回の改訂は前記の他にも YAR 2004 の規定を修正・変更する点が多々ありますが、YAR 2016 は船主協会や BIMCO により表明された懸念事項を十分に踏まえたものになっており、この改訂版が運送契約に広く採用されるべく、国際 P&I グループも支援を行いました。本年 5 月のコペンハーゲンでの BIMCO の書式制定委員会にて、BIMCO の傭船契約及び船荷証券書式につき YAR 2016 に従う旨の修正を行うことで合意されました。国際船主協会の海事法委員会は、過去 4 年にわたる YAR の改訂作業を入念に観察し、改定案についての議論を承認するとともに、国際船主協会のメンバーに対して、本年 9 月の会議で YAR 2016 の使用を強く推奨するものと思われま

YAR 2016 の採択に加えて、共同海損に関し CMI 国際作業部会が作成したガイドラインについても、CMI 総会で承認されました。このガイドラインは共同海損ケースの取扱いに資することを意図し、基本原則の背景情報、共同海損精算人のベストプラクティスに関する案内や共同海損の精算実務の要点をまとめたものです。このガイドラインは YAR の一部を構成し、拘束力を持つものではなく、また YAR の規定自体を無効にしたり、規定に変更を加えたりするものでもありません。このガイドラインは生きた書類であり、CMI の監督のもとで定期的に更新されることが意図されています。

YAR 2016 の全文及び CMI ガイドラインは以下のリンクから入手することができます。

http://static.igpandi.org/igpi_website/media/article_attachments/York-Antwerp_rules_adopted_by_the_CMI.pdf

国際 P&I グループは YAR 2016 の採択を歓迎するとともに支援しており、組合員殿が将来締結する船積契約へ YAR 2016 を撰取することを推奨しています。YAR 2016 の撰取により、組合員殿への保険てん補に影響が出ることはありません。

国際 P&I グループの全てのクラブが同様の回報を発行しています。

以上